

米農務省(USDA)クロープリポート

(2/9発表)

フジフューチャーズ株式会社(情報企画課)

22年2月10日(水)

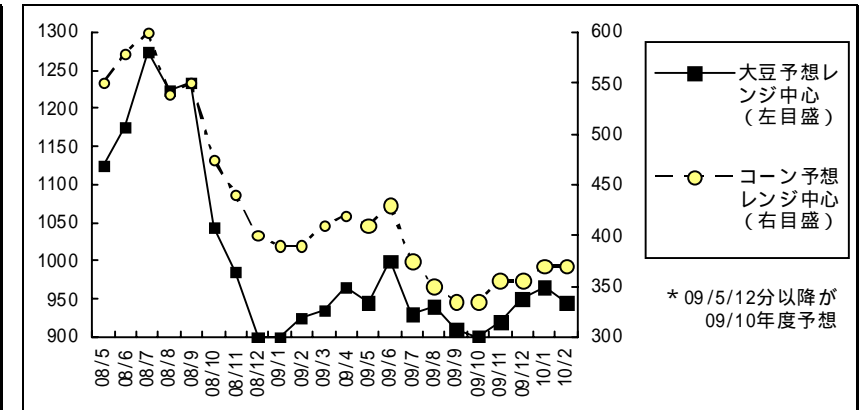
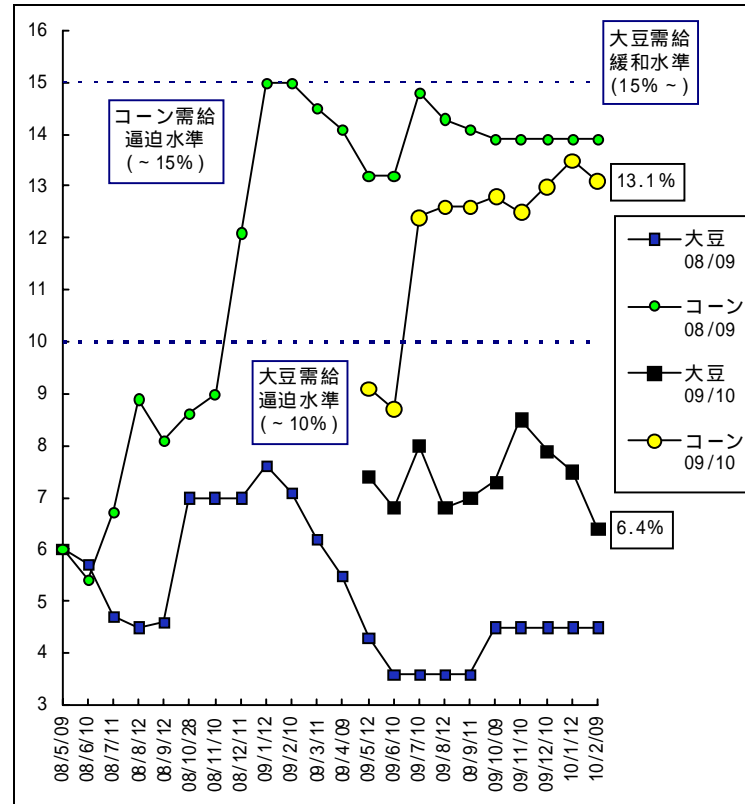
米国大豆需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	09/10 年度		08/09 年度	
	2/9	1/12	2/9	1/12
総供給	3507	3507	3185	3185
期初在庫	138	138	205	205
生産	3361	3361	2967	2967
単収(bu/I-カー)	44.0	44.0	39.7	39.7
総需要	3297	3262	3047	3047
国内	1897	1887	1764	1764
輸出	1400	1375	1283	1283
期末在庫	210	245	138	138
期末在庫率	6.4%	7.5%	4.5%	4.5%
農家平均価格	870-1020	890-1040	997	997

米国コーン需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	09/10 年度		08/09 年度	
	2/9	1/12	2/9	1/12
総供給	14834	14834	13729	13729
期初在庫	1673	1673	1624	1624
生産	13151	13151	12092	12092
単収(bu/I-カー)	165.2	165.2	153.9	153.9
総需要	13115	13070	12056	12056
国内	11115	11020	10198	10198
輸出	2000	2050	1858	1858
期末在庫	1719	1764	1673	1673
期末在庫率	13.1%	13.5%	13.9%	13.9%
農家平均価格	345-395	340-400	406	406

米国大豆・コーン期末在庫率予想の推移



農家平均価格(現物相場)予想の推移

09/10 年度の期末在庫率予想は

大豆 [6.4%] = 需給逼迫水準 米国内の需給予想(09/10 年度分)は、前回から「国内消費 0.10 億 bu 増、輸出 0.25 億 bu 増」となり、期末在庫 0.35 億 bu 減・同在庫率 1.1 ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は 20 セント引き下げられた。世界全体の期末在庫予想は小幅に下方修正。主要国では、ブラジルの生産・輸出予想が上方修正、アルゼンチンの輸出予想が下方修正、中国の需要予想が上方修正。

コーン [13.1%] = 需給逼迫水準 米国内の需給予想(09/10 年度分)は、前回から「国内消費 0.95 億 bu 増(エタノール用が 1.00 億 bu 増となり、過去最高。コーン価格低下で採算性が向上)、輸出 0.50 億 bu 減」となり、期末在庫 0.45 億 bu 減・同在庫率 0.4 ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は変わらず。世界全体の期末在庫予想も下方修正。主要国の需給予想に目立った修正は無い。

今回の発表内容は事前予想の範囲内(コーンはやや強気寄り)。米国のエタノール製造用コーン需要が事前予想を大きく上回ったが、「今後政策面からの需要増加を見込んだにせよ、過大な見積み」との見方も。なお、次回 3 月報告には「一部の州での収穫遅れを受けた生産高や在庫の再調査」が反映される見通しだが、「前回 1 月報告での予想外の生産高上方修正」の主因は「それまで、米農務省が遺伝子組み換えによる単収向上を過小評価していたため」と見られるようになり、今後生産予想の大幅下方修正は期待されなくなっている。